

自治体名	<b>多摩市</b>				
地域未来塾名称	地域未来塾（「おはよう教室」など）				
実施場所(個所数)	■小学校：2校				
対象学年	■小学生（全学年）				
学習支援員数	9人	■大学生、■地域住民、 ■その他（ピアティーチャー（教育活動指導教員））			
対象教科	国語	○	算数	○	英語
	その他	理科・社会			
ICT活用有無	無	東京ベーシックドリル活用		有	
<p><b>【実施規模】</b>  <b>■実施回数：学校ごとに設定</b>      <b>■実施曜日 学校ごとに設定</b>      <b>■時間帯 始業前・放課後</b></p> <p><b>【運営体制・方法】</b>          学校が教育連携コーディネーターの協力を得て実施。1校は週に2回始業前に、別の1校は月に2回放課後に実施。算数は必須とし、教材として東京ベーシックドリル（紙又はアプリ版）の使用を推奨。子供達は個人で学習し、分からないところを学習支援員に質問する。</p> <p><b>【成果・課題等】</b>          「教わってわかった!」「もっと回数を増やして欲しい」等、学習意欲の高まりや自信を付けた子供もいる。          幅広い年齢の児童が集まる小学校では、学年により適宜、会場を分ける必要があるが、そのためにはそれに対応した学習支援員の人数を確保する必要がある</p>					

地域未来塾名称	地域未来塾（「朝プロ」・「放課後学習倶楽部」・「DOKKO I スクール」など）				
実施場所(個所数)	■中学校：4校				
対象学年	■中学生（全学年）				
学習支援員数	35人	■大学生、■地域住民、 ■その他（ピアティーチャー（教育活動指導教員））			
対象教科	国語	○	数学	○	英語
	その他	理科・社会			
ICT活用有無	有	東京ベーシックドリル活用		有	
<p><b>【実施規模】</b>  <b>■実施回数：学校ごとに設定</b>      <b>■実施曜日 学校ごとに設定</b>      <b>■時間帯 始業前・放課後</b></p> <p><b>【運営体制・方法】</b>          学校が教育連携コーディネーターの協力を得て実施。実施については始業前が1校、放課後が2校、及び夏休み中心が1校。教材としてタブレットや東京ベーシックドリルの使用を推奨。英検受験のための学習をしている場合もある。</p> <p><b>【成果・課題等】</b>          学習支援員の指導によりできなかった問題ができるようになるなど、自信や学習目的を持てるようになった生徒も増えてきて、手応えを感じている。          学校や地域の特性を尊重しつつも、「基礎的学力、学習習慣の定着を目指す」という事業目的を踏まえた組み立てになるよう、学校と教育委員会の連携をより強めていく必要がある。</p>					